

様式

技術名称	現地で運用するための 工事中の濁り拡散予測システム	技術の分類	システム	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無し
会社名等	株式会社エコー	担当者	森田 整	連絡先	03-5828-2188
技術の概要	国際バルク戦略港湾事業等、大規模輸送時代を迎え、全国の主要な航路・泊地で浚渫工事が鋭意実施されています。 これら浚渫工事により発生する濁り(SS)は、周辺海域の水質を短時間に変化させ、漁場環境への影響が懸念されます。「工事中の濁り拡散予測システム」は、パーソナル・コンピュータ(PC)を利用した流況と濁り拡散シミュレーションにより、浚渫工事による濁りの拡散状況を容易かつ高精度に予測し、工事の施工管理に活用するために構築したシステムです。	添付資料	パンフの有無	有り	
			その他の資料	発表論文： 土木学会、海洋開発論文集	
技術の特徴	<p>【背景と目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際バルク戦略港湾事業等、大規模輸送時代を迎え、港湾や航路の増深計画が進められています。</li> <li>浚渫工事に伴って問題になるのは周辺への濁りの拡散の影響です。</li> <li>本システムは、事前に濁り拡散の影響範囲を把握するだけでなく、工事中の濁りの拡散予報を行うとともに、航路埋没対策についても検討するものです。</li> </ul> <p>【特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現地で運用するためのパーソナル・コンピュータ(PC)システムです。</li> <li>現場担当者が流況と濁り拡散シミュレーションを実行し、浚渫工事等に伴う濁りの拡散状況を容易かつ精度高く予測できます。</li> <li>環境に配慮した浚渫工事等の年度計画の立案や、施工管理への活用ができます。</li> </ul>	その他	<p>【報告の概要】</p> <p>当社実績をもとに、以下の内容について報告します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予測システムの構成</li> <li>流況・濁り拡散シミュレーションの概要</li> <li>観測データとの比較に基づく現地への適用性</li> <li>予測システムの入力・計算の実行・出力のイメージ</li> </ul>		